第 VIII 欄(iv) 発明者である旨の申立て(米国を指定国とする場合)

申立ては実施細則第 214 号に規定する以下の標準文言を使用して作成しなければならない。第四欄と同欄 $(i)\sim(v)$ の備考の総論部分、及び本頁に特有の事項について第四欄(iv)の備考を参照。この欄を使用しないときは、この用紙を顧書に含めないこと。

発明者である旨の中立て(規則 (米国を指定D	J 4.17(iv)及び 51 の 2.1(a)(iv)) 国とする場合)
私は、特許請求の範囲に記載され、かつ特許が求められている対象に関 されていない場合)か、あるいは共同発明者である(複数の発明者が記載	目して、自らが最初、最先かつ唯一の発明者である(発明者が1名しか記載 されている場合)と信じていることを、ここに中し立てる。
本中立ては、本書がその一部をなす国際出願を対象としたものである	(出願時に中立てを提出する場合)。
本中立ては、国際出願 PCT/	_を対象としたものである(規則 26 の 3 に従って中立てを提出する場合)。
私は、特許請求の範囲を含め、上記国際出願を検討し、かつ内容を理解上記出願の願書において主張する優先権を特定し、かつ、「先の出願」とり出願月、出願年を記載することで、米国以外の少なくとも一国を指定して前の出願日を有する、米国以外の国で出願された特許又は発明証の出願を	いる PCT 国際出願を含め、優先権の主張に係る基礎出願の出願日よりも
先の出願:	
こに承認する。さらに、一部継続出願である場合、先の出願の日から一部いて開示義務があることを承認する。 私は、表明された私自身の知識に基づく陳述が真実であり、かつ情報と 故意に虚偽の陳述などを行った場合は、米国法典第18編第1001条に基づ	信念に関する陳述が真実であると信じることをここに申し立てる。 さらに、 ゔき、
る虚偽の陳述は、本出願又はそれに対して与えられるいかなる特許についここに中し立てる。	ても、その有効性を厄りくすることを理解した上で陳述が行われたことを、
氏名: 大木一	
住所: 甲府市 日本国 (都市名及び、米国の州名(該当する場合) 又は国名)	
郵便のあて名: 〒400-0063 日本国山梨県甲府市金竹町4番	15号パルルウェスト102
11000000 日中山田太沢「河市並刊刊工	10-97-702
国籍: 日本国 JAPAN	
+ * -	16.11.04
発明者の署名: 人 人 (国際出願の願書に発明者の署名がない場合や、規則 26 の 3 に基づいて国際出願の出願後に中立ての補充や追加がなされた場合。署名は代理人ではなく、発明者のものでなければならない。)	日付:
氏名: 下沢勝雄	
住所: 中巨摩郡 日本国 (都市名及び、米国の州名(該当する場合)又は国名)	
郵便のあて名:〒409-3842 日本国山梨県中巨摩郡田富町夏	東花輪2016番地1
ハイツ昭和土地田富103号	
_{国籍:} 日本国 JAPAN	
発明者の署名: 下沃) 族 雄	目付: 1///.04
(国際出願の願古に発明者の署名がない場合や、規則 26 の 3 に基づいて国際出願の出顧後に申立ての補充や追加がなされた場合。署名は代理人ではなく、発明者のものでなければならない。)	(国際出願の願書に発明者の署名がない場合や、規則 26 の 3 に基づいて国際出願の出願後に申立ての補充や追加がなされた場合)

様式PCT/RO/101 (申立て用紙(iv)) (2004年1月版)

この中立ての続葉として「第Ⅷ欄(iv)の続き」がある

V

第 VIII 欄(I)~(v)の続き 申立て

第四欄(i)~(v)の紙面が不足する場合(同欄(iv)において2人以上の発明者を記載する場合を含む)、「第四欄…(ti)~(v)の番号を記載)の続き」としたうえ、当該申立て と同様に必要事項を記載する。2以上の申立てにおいて紙面不足がある場合、それぞれに別々の欄を使用する。この追記欄を使用しないときは、この用紙を願書に含

第VIII欄(iv)の続き

氏名 今村昭吾

住所 笠間市 日本国

郵便のあて名 〒309-1603 日本国茨城県笠間市福田961番地20 株式会社潤工社内

国籍 日本国 JAPAN

発明者の署名 今 村 昭 吾 日付: 16.11.04

氏名 上村嘉朗

住所 八王子市 日本国

郵便のあて名 〒193-0941 日本国東京都八王子市狭間町1860番地6

国籍 日本国 JAPAN

上村 嘉 朗 时: 16.11.04 発明者の署名